

## 会長就任の挨拶

福島原子力企業協議会

会長 小暮 俊



この度、令和4年度福島原子力企業協議会の会長に就任いたしました、東京パワーテクノロジーの小暮でございます。就任にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故から11年以上が経過し、ここ浜通り地区では、特定復興再生拠点区域の避難指示解除が予定されるなど、復興に向けた活動が前進しています。

1Fでは、1号機の大型カバー設置、2号機の燃料取り出し用構台設置準備などの使用済燃料取り出しのための準備作業、また、燃料デブリ取り出しに向けての原子炉格納容器内部調査などの廃炉作業が進捗する中、ALPS処理水の処分を進める上で大変重要な局面を迎えています。

2Fでは、昨年6月に廃止措置作業が着手され、今後は汚染状況調査、その結果を踏まえて廃止措置計画を検討していく、という状況にあります。

このような状況の下、作業の安全、品質を確保し、地域・社会の皆様信頼していただけるよう、東京電力ホールディングス殿と企業とて協力しながら廃炉作業を進めていくことが第一であり必須であると考えております。

作業の安全、品質確保には、作業に従事する方々の教育が重要です。協議会では、従前から実施している作業班長や作業員の教育について、さらなる効率的・効果的な運用を目指して取り組んでいくとともに、協議会参加企業の相互の情報共有、コミュニケーションを促進し、シナジー効果を発揮できる協議会となれるよう、東京電力ホールディングス殿と協議会の皆様のご協力をいただきながら微力ながら尽力してまいりたいと思っております。

コロナ禍の折、各種イベントの実施も計画通りにはいかない状況ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。